



武蔵一宮

氷川神社略記

武蔵一宮

氷川神社社務所

埼玉県さいたま市高鼻町1-407

電話 048-641-0137(代)

FAX 048-647-1213

氷川神社案内図



大宮駅より徒歩20分



人生儀式案内

安産祈願 妊娠五ヶ月目の戌の日に安産祈願をし、岩田帯をしめます。
 命名 誕生から七日目をお七夜の祝いといい、この日までに名付をいたします。
 初宮詣 男児は三十二日、女児は三十二日又は三十三日にお宮参りをいたします。
 七五三祝 男児とも三才を髪置、男児五才を袴着、女児七才を帯解の祝として、十一月十五日に神社に参拝します。
 合格祈願 中学校、高等学校、大学とそれぞれに合格祈願いたします。又無事入学し、学業成就の方の在学中の御加護を願ひ学業成就祈願をいたします。
 成人祝 男女とも満二十才の年に成人式をして祝います。
 神前結婚式 千古の神域より新しい人生の門出を祝し、挙式をいたします。
 厄除け祈願 女子は十九才、三十三才 男子は二十五才、四十二才を厄年といい、厄除け祈願をいたします。
 交通安全祈願 交通安全、事故防止の為、諸車の交通安全祈願を行います。



大祓式（茅の輪くぐり）



鎮花祭（花しづめ舞）

武蔵一宮 氷川神社

御祭神 須佐之男命 すさのおのみこと 稲田姫命 いなだひめのみこと 大己貴命 おおなむちのみこと

例祭日 八月一日

御由緒

今から二千四百有余年の昔、第五代孝昭天皇の御代三年四月の御創立で、聖武天皇の御代各国に一の宮の制を定められた時、武蔵一の宮と称えられ、醍醐天皇の朝に定められた延喜式には名神大社として月次新嘗案上官幣に預り、又臨時祭にも奉幣に預ったことが記されています。明治の御代に至っては元年（一八六八）十月二十八日明治天皇当神社に行幸、御親祭なされ、当国の鎮守勅祭の社と定められ、次いで四年五月官幣大社に列せられました。年々の例大祭には勅使の御差遣、東游の御奉納などがあり、莊重嚴肅な祭儀が行われます。

又、氷川神社名の社は大宮を中心に、埼玉県下及び東京都下、神奈川県下に及びその数は二百八十数社をかぞえます。武蔵国造の子孫がこの大宮の地を本拠として民族的政治的に著しい発展をしたことを物語っているものと考えられます。

社殿の沿革

上代のことは詳かにすることが出来ませんが、治承四年（一一八〇）源頼朝公が土肥次郎実平に命じて社殿を再建、文祿五年（一五九五）八月には徳川氏、伊奈備前守忠次を奉行として、社頭を残らず造営せしめ、次いで寛文七年（一六六七）三月には阿部豊後守を奉行として社殿の建立をしております。以来幾度の御造営あつて今の御社殿は昭和十五年（一九四〇）六月の竣成で、流造りであります。

社頭風致

神社は元神領の大宮公園を控え、広大な聖地として、境内の広さ約三万坪、古杉老松は古えをしるばせ参道の長さは中山道の一の鳥居から約二キロメートル、国道十六号ぞいの二の鳥居は高さ十三メートルで、木造では関東一の高さをほこります。境内には楼門あり、舞殿あり、神橋あり、池水満々、四時の眺め輪奐の美を極め、靈氣おのずと襟を正さしめます。

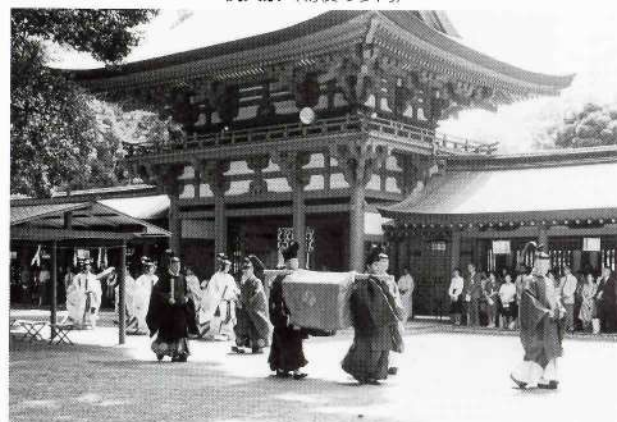
境内神社

撰社 門客人神社
撰社 天津神社
撰社 宗像神社

末社 山祇神社
末社 石上神社
末社 愛宕神社
末社 雷神社
末社 住吉神社

末社 神明神社
末社 天満神社
末社 松尾神社
末社 御嶽神社
末社 稲荷神社

例大祭（勅使の参向）



主な恒例祭儀

歳旦祭 一月一日
節分祭 二月節分日
祈年祭 二月十七日
郷神祭 三月十五日
鎮花祭 四月五・六・七日
御鎮座祭 五月九日
道饗祭 五月二十一日
粽神事 六月五日
大祓式 六月三十日
例大祭 八月一日
神幸祭 八月二日
抜穂神事 十月九日
朔瓶祭 十月二十一日
新嘗祭 十一月二十三日
大湯祭 十二月十日
誓詔祭 十二月十一日

この外、毎月一日には月次祭、十五日には献詠祭、国民奉祝の日にはそれぞれ祭事が行われます。

大湯祭（社頭の賑い）

